

地域と育む未来医療人「なごやかモデル」公開シンポジウムに参加しました

平成 27 年 2 月 14 日午後 1 時 30 分より、名古屋市立大学で開催された「地域と育む未来医療人『なごやかモデル』公開シンポジウム」に参加しました。

「なごやかモデル」は、他大学の取り組みと違い、医療系の学生だけではなく、名古屋工業大学、名古屋学院大学と連携し、AIP（エイジング・イン・プレイス）のための街づくりと、そのための人材育成を相互発展的に連動させることを特色としており、大変興味深い事業です。

各大学とも多くの学生が参加しており、今回のシンポジウムでは、課題研究成果ポスター発表会での優秀グループの学生達が代表で発表してくれていました。

シンポジウム自体も、学生はもちろん一般からの参加者も多く、大学・自治体・住民の皆さんが街ぐるみで取り組んでいる様子が見られた事が大変印象的でした。

文部科学省「未来医療研究人育成拠点形成事業」
地域と育む未来医療人「なごやかモデル」
公開シンポジウム

なごやかモデル

1. 日 時 平成 27 年 2 月 14 日(日) 13:30 ~ 19:20
2. 会 場 名古屋学院大学新山キャンパス きくら会館
名古屋工業大学 学舎 第 2 館 2 階 (専属施設代表者)

3. 主 催
① 主催 名古屋工業大学 学舎 第 2 館 2 階 (専属施設代表者)
② 共催 あいさつ (13:35~13:50) 名古屋学院大学 向美 総経 敬希 氏
③ シンポジウム(13:55~15:40) 「なごやかモデル」エイジング・イン・プレイスを実現する人づくり
④ 協 賛 名古屋学院大学大学院 医学研究科 敬希 孝幸 氏
シンポジウム
⑤ サークルセミナー(15:50~16:30) 名古屋工業大学大学院 医学研究科 敬希 孝幸 氏 (専属施設代表者)

⑥ AIP を支える専属施設人財育成
名古屋工業大学 専属施設 敬希 孝幸 氏 (13:55~14:05)

⑦ 学生による課題研究の紹介
『地域中心型学習』の優秀グループ (14:05~14:25)
グループ E(2) (有内 純志) 地域実働に連携する自治体中心の編成と評価
グループ F(3) (藤原 悠樹) 施設実働による実証
グループ G(4) (藤原 悠樹) 地域に根ざした長寿社会実現を目指す新たな取り組みの検証
「なごやか暮らしの発展」 (14:25~14:40)
名古屋工業大学大学院 医学研究科 藤原 悠樹 氏

⑧ 学生の体験参加による AIP コミュニティづくり (14:45~14:55)
名古屋工業大学 大工 伊藤 謙一 氏

—— 休憩 (14:55~15:00) ——

⑨ 地域連携の推進のための連携「福祉推進の推進」
徳立創研会 佐田 隆雄 氏 (15:00~15:20)

⑩ AIP を支える IoT 新工学の導入
名古屋工業大学大学院 工学研究科 敬希 孝幸 氏 (15:20~15:40)

⑪ 総合討論 親子世代の意見交換 (15:45~16:10)
徳立創研会 佐田 隆雄 氏(司会) 敬希 孝幸 氏
敬希 孝幸 氏

⑫ 終わりに(16:10~16:15)
名古屋工業大学大学院 医学研究科 敬希 孝幸 氏

地域と育む未来医療人「なごやかモデル」HP <https://nagoya-model.jp/>
〒467-8601 名古屋学院大学新山キャンパス 1E-052 052-8077

本シンポジウムは、協賛団体の賛成によるものです。

